

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立北方保育所	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉南区北方二丁目16番10号		
	設置目的	児童福祉法第39条に規定される保育所として、保育を必要とする乳児又は幼児を保育することを目的とする児童福祉施設である。		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制	有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市保育事業協会		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		保育所の管理及び保育の実施。		
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		43	
	(1) 施設の設置目的の達成				
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	35	4	28	
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
	④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]					
① 指定管理業務の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育方針が分かりやすく明示され、通常保育のほか子育て支援の取組みなど、計画に基いた保育所運営が行われている。</li> <li>・3歳以上児に対しては、調理員から食の大切さや行事食の由来などの話をする中で、「食」への関心を高める取組みを行うとともに、クッキング回数を増やしたり野菜の栽培を行っている。また、「手洗いチェッカー」を使用することで、子どもたちが正しい手洗いの方法を意識する取組みを行っている。</li> <li>・保護者に対しても、その日の献立で使った食材を展示することで、降所時の親子の会話が生まれ、子どもたちの「食」への関心を高めるなどの工夫を行った。また、試食会の実施、給食だよりやレシピの保護者への配布回数を増やすことで、食生活の大切さを伝えている。</li> <li>・年間を通して実施している隣接公園（北方さくら公園）の清掃活動を実施するなど、環境啓発にも努めている。</li> <li>・月1回のクラス便りや日々の送迎時を活用して、保護者の子育てに関する相談に応じるなど、保護者支援にも取り組んでいる。</li> </ul>					
月平均利用児童数 (人)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	112	119	125	125	125
(定員：120人) ※平成28年度より指定管理者変更					

各行事の実施状況(回)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
園行事	26	21	24	25	26
地域活動	18	20	26	25	22
計	44	41	50	50	48

- ② 利用促進を目的としている施設ではないため、該当なし。  
 ③ 該当なし。  
 ④ 施設の性質上、保育所入所等については行政で決定するため、該当なし。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

① 利用者の満足度

- ・保育内容についての利用者の満足度を問うアンケートでは、すべての項目の平均で98.4%という結果であり、保護者の満足度は高い。

項目(単位%)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
子どもの様子	100.0	100.0	97.7	100.0	100.0	99.4
情報提供	100.0	98.8	99.5	100.0	99.5	99.4
保育所の状況	98.3	94.6	96.4	100.0	99.5	97.6
安全管理、事故防止の取組み	98.3	93.6	99.5	99.0	95.9	97.0
全体平均	99.1	96.4	98.3	99.7	99.3	98.4

※平均値については、各項目の全設問の平均値を算出したもの。

- ・平成28年度に指定管理者が変更となり、変更直後の年度については、全体的にやや満足度が低下したが、その後は、満足度が上昇傾向にあり、状況は改善されていると考えている。
- ・職員間の連携体制を強化したことにより、保護者との信頼関係が醸成され、保護者との良好な関係を築いたことが満足度が上がった要因であると考えられる。

② 利用者意見への対応、③苦情への対応

- ・保護者参加の行事では保護者へのアンケートを実施し、保護者の要望を次の行事に反映させるように努めている。また、アンケート結果を公表するとともに、保護者に丁寧に示すこと

で、認識の共有を図っている。

- ・意見・要望・苦情・不満を解決するための仕組みである第三者委員を設け、保護者からの要望等に適切に対応することで、利用者の理解と満足感を高めている。

**④ 情報提供**

- ・クラス便りや園便り（月1回）の配布、個人懇談会や保育参観などを活用して、園の保育内容を保護者へ情報提供している。
- ・給食だよりやレシピ等、食に関する情報を積極的に保護者へ提供し、家庭内での食育につなげている。

**2 効率性の向上等に関する取組み**

30

18

**(1) 経費の低減等**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

30

3

18

**[評価の理由、要因・原因分析]**

**① 経費低減の取組み**

- ・使用しない部屋の電灯を細めに消したり、週末や長期休暇前には、暖房便座のスイッチを切る、冷暖房使用については室内外の温度差に注意し、天井扇を使用するなど、節電に取り組んでいる。
- ・印刷物やメモ等は、裏紙を利用するなど、消耗品費の節約にも心がけている。

指定管理料（単位 千円）	【参考】H27年度（更新前）	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
予算	—	7,730	7,730	7,730	7,730
決算	6,818	6,559	6,635	6,327	6,408
決算（うち光熱水費）	2,610	2,806	2,792	2,705	2,799

※特別保育事業にかかる費用は除く。

**② 再委託の経費**

- ・清掃、設備の保守点検業務など受託者において履行できない部分については再委託を行っているが、複数の業者の見積もりを徴するなど、経費節減が図られている。

**(2) 収入の増加**

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

—

—

—

**[評価の理由、要因・原因分析]**

施設の性質上、保育所への入所等については行政が決定し、保育料は国が定めた単価をもとに市が決定しているため、評価の対象としない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		12
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況			
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
<p>① 人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準に基づき、必要な保育士が配置されている。</li> </ul> <p>② 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市や保育士会等が実施する研修に積極的に参加しており、毎月行う職員会議ではその研修報告を行っている。</li> <li>・年間計画表に沿った様々な職場内研修を実施することで、職員の資質向上につなげている。特に、保育所保育指針と保育ハンドブックの読み合わせを行うことで、日頃の保育を振り返り、保育実践だけではなく保育者としての向上に努めた。また、外部研修の報告を徹底し、保育士の認識の共有と資質の向上を図った。</li> </ul> <p>③ 地域協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者施設ひまわり学園と定期的に交流保育を行うほか、校区小学校のフェスティバルや交流センターへの作品展に参加している。また、市民センターの行事に参加し、年長者や地域の方との交流行事を計画的に行ったほか、中高生とも、ボランティア活動や福祉体験で交流を図っている。</li> <li>・未就園児の家庭支援の一環として、毎年度「あそぼう会」を年2回程度実施することで、入所希望につなげている。また、区役所保健福祉課が主催する「北方子育てひろば」に保育士が参加し、保護者にも好評を得ている。</li> <li>・“いっせいまち美化の日”には、園児がさくら公園の落ち葉拾いを行った。</li> </ul>			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

① 個人情報の保護

- ・個人情報の保護・管理については、「個人情報管理規程」を設け、職員に周知徹底を行っている。

② 平等利用、③公平選定

- ・入所児童の選定は行政が法に基づいて行うため、適切である。

④ 収支状況

- ・収支内容に不適切な点は認められない。

⑤ 安全対策、⑥ 危機管理体制、⑦ 非常時の対応

- ・不審者侵入訓練、市民センターとの合同防災訓練（消火、通報、避難誘導等）を行うなど、子どもの安全確保に努めている。
- ・風水害等発生時の対応マニュアルなどを作成し、周知を図っている。
- ・職員が救命救急講習を受け、緊急時に対応できるよう知識習得を行った。

【総合評価】

合計得点	73	評価ランク	B
<p>これまでの保育所運営に基づく知識や経験を生かした保育を行っている。</p> <p>施設外で行われる各種研修に職員を積極的に参加させるとともに、保育士の資質向上を目的とした職員会議や研修を定期的に行い、子どもたちにより良い保育を提供するよう努めている。</p> <p>また、市民センターと併設であることを生かし、行事等を通して幅広い年代の人との交流を深めるなど、地域に根ざした保育を積極的に展開している。</p> <p>他にも、区役所保健福祉課と協働の「北方子育てひろば」や、保育所独自の「あそぼう会」を継続して行い、未就園児親子の子育て支援にも力を入れている。</p>			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

- ・より適切な評価を行うために、アンケート結果を反映した改善策の部分や、「大変満足」と「満足」の比率で評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。
- ・平等利用や公平選定については、指定管理者の努力部分について評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。
- ・人材確保で努力や工夫している部分なども評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。